

いわたインターナショナルフェア 2020

報 告 書

概 要

総 評

実行委員

協 賛

総務セクション

シンポジウムセクション

ワールドステージセクション

展示・体験ブースセクション

世界のスポーツセクション

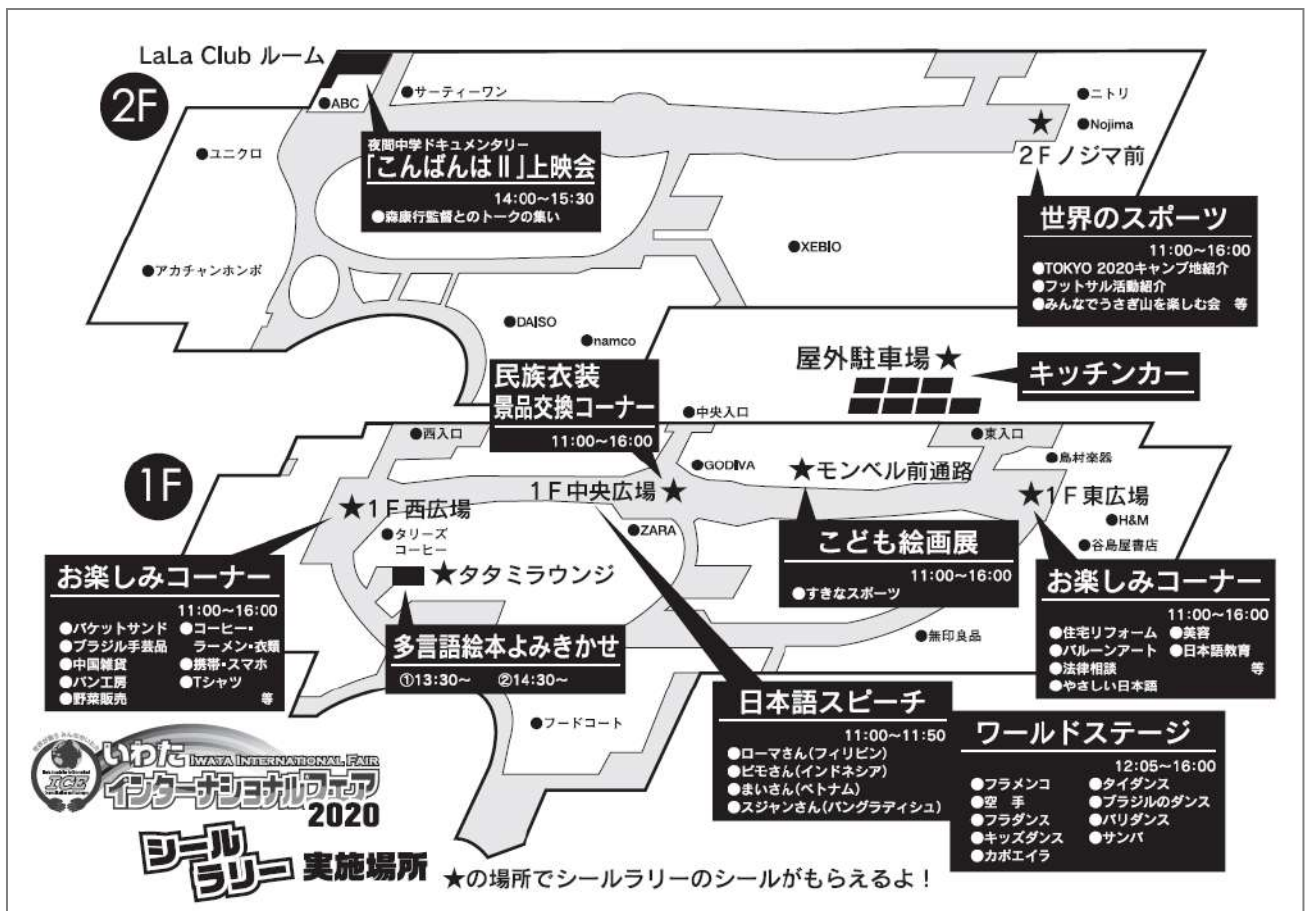
新聞記事

いわたインターナショナルフェア 2020 実行委員会

いわたインターナショナルフェア 2020

概要

- 開催日時 2020年2月16日(日) 11:00-16:00
- 会場 ららぽーと磐田(静岡県磐田市高見丘1200)
- 開催目的 「共に豊かな社会を築き、支え合う」多文化共生の実現のためのネットワークの構築を目指すとともに、「磐田市の多文化共生」に対する住民の意識を高めることを目的とする。
- 全体図とスケジュール



いわたインターナショナルフェア 2020

総 評

実行委員長 川原 利彦

令和2年2月16日（日）に「ららぽーと磐田」にて開催された「いわたインターナショナルフェア 2020」は、開催の第一の目的として掲げた「より多くの市民の皆様に多文化共生への取り組みを広く認知していただく」という点においては、開催場所がららぽーと磐田ということもあり、当初の目的は充分に果たせたかと思います。また、この事業が滞りなく無事に終了できましたことに実行委員の皆様をはじめ、当日関わっていただいた会員の皆様、学生の皆さんをはじめとする多くのボランティアの皆様に先ず持って感謝の意を表します。ありがとうございました。これを単発で終わらせることなく、継続的に行っていくことが大切であると強く感じました。

さて、5回にわたる実行委員会の実施は、実行委員の皆様には大変なご負担をお掛けしたことと思います。実施会場をこれまでの「ワークピア磐田」から「ららぽーと磐田」へ移したこともあり、活動内容の見直しや会場設営の段取り等、過去6回の開催とは勝手が違うこともあり実行委員会の開催回数が増えてしまいましたことをお許しください。

各セッションごとの数少ない反省点につきましても各々のセッションリーダーからご報告があらうかとは思いますが、実行委員長の私なりに触れてみたいと思います。

● 「総務セッション」「企業コラボセッション」について

第1回目の実行委員会（準備会）から企業コラボセッションに配属を希望する方がなく、総務セッションが企業コラボセッションの活動を合わせて活動することになってしまいました。企業コラボセッションは、いうまでもなく「企業からの協賛金を集める役割」を担っておりました。これが総務セッションへの負担となり、総務セッションも実行委員会を重ねるたびに参加者も減り、苦戦を強いられることとなってしまいました。

協賛金は、目標金額を60万円程度としていましたが、中間報告の段階では目標にほど遠い状況との情報があり、広く会員皆様に御協力をお願いすることとなりました。幸いご理解いただいた会員の皆様の御尽力のおかげで、目標金額に近い協賛金を得ることができました。これらにつきましても、会員皆様方に深く感謝申し上げる次第でございます。

● 「シンポジウムセッション」について

午前中開催の「日本語スピーチ」では、4人の在日外国人の方にご登壇いただき、日本で生活する中での嬉しかったことや苦勞している話などをお聞かせいただきました。傍聴者も多く、大変良かったと思いました。

また、LaLa Club ルームで実施された夜間中学ドキュメンタリー「こんばんはⅡ」の上映や監督とのトークセッションも満席となり、在住外国人の日常と現実を広く市民の皆様知っていただける機会となりました。

● 「ワールドステージセクション」について

過去6回の開催内容とほぼ同じような内容で実施することができ、多くのギャラリーが見つめる中、出演されたダンサーの皆さんのパフォーマンスも素晴らしく、イベントに華を添えていただくことができました。欲をいえば、予算との兼ね合いもあろうかとは思いますが、できるだけ地元で生活する外国人の方々のパフォーマンスを披露できればと感じました。

● 「世界のスポーツセクション」について

例年ですと、「世界の料理」を担当していたセクションですが、会場が変わったことで苦慮され、東京オリンピック・パラリンピックの開催年ということもあり、オリンピック（スポーツ）を切り口とした国紹介に果敢に挑んだセクションでした。勝手が違う中、リーダーを中心に形を作っていただいたことに感謝します。

● 「展示・体験ブースセクション」について

実施場所が3箇所に分かれている中、出展者との意志の疎通もよく、当日のトラブルもなく上手くまとめることができました。セクションリーダーの強いリーダーシップのもと、シールラリーなどは広い会場をくまなく楽しんでいただけるには十分な手段であり大変効果的で素晴らしかったですし、心強かったです。

上記に掲げた反省点は、反省というよりは終わってみて「もう少しこうすれば」と感じたものばかりで、皆様のおかげで素晴らしい活動ができたことを大変うれしく思いました。5回もの実行委員会の実施ということで、セクションリーダー会議ができず、各セクションのリーダーと細かな情報交換ができなかったのが私自身への反省点でした。

会場設営から当日の運営、そして撤収作業も予想していた時間内にきっちり収めることができ、初めて実行委員長を務める自分にとっては、大変頼もしく、心強く、皆さんとわずか5時間のイベントにこれだけの労力を費やしながらも楽しい時間を過ごせたことに心から感謝申し上げます。

最後に、磐田国際交流協会の事務局の下支えも「ご苦労様」という言葉だけでは足りないくらいでした。また、会場を提供してくださったらば一と磐田のスタッフの皆さんにも御礼を申し上げます。ありがとうございました。

いわたインターナショナルフェア 2020 実行委員

委員名	団体名
相川 アンジェラ	浜松いわた信用金庫
今村 信大	磐田ユネスコ協会
川原 利彦	一般社団法人磐田国際交流協会
齋藤 さくら	一般社団法人磐田青年会議所
澤元 まつえ	国際ソロプチミスト磐田
杉田 友司	共生のなかま「樹の会」 磐田市多文化交流センター「こんにちは！」
鈴木 望	カトリック磐田教会
知念 カヨコ	エスコーラ オブジェチーボ チアホーザ
藤田 昌弘 中西 浩人	磐田市地域づくり応援課
前嶋 義夫	一般社団法人磐田国際交流協会（日本語教室）
水野 勲	磐田市自治会連合会
三輪 邦子	NPO 法人磐田まちづくりネットワーク 磐田市市民活動センター「のっぽ」
村田 久子 伊藤 慎弥	磐田未来クラブ

協賛

株式会社アドバンス
東海精機株式会社
太平工業株式会社
学校法人静岡理工科大学 浜松日本語学院
ゼンウェルオーダー株式会社
丸西機械株式会社
有限会社豊富製作所
磐田リベルラ法律事務所
株式会社ルマンオート
株式会社森鉄工所
株式会社ナレッジアンドマテリアルズ
株式会社ライト
株式会社三方原キカイ
株式会社天峰建設
国際ソロプチミスト磐田
株式会社ライトハウスエデュケーション
合資会社大庭金物店
職業訓練法人 静和職能開発協会（監理団体）
earth
茶間亭
平野ビニール工業株式会社
浜松鉄工株式会社
ヤマハ発動機ビズパートナー株式会社
有限会社泉屋堂
株式会社アイ・ビー・フォックスフーズ
株式会社セイショー

株式会社 YASAI
イワレキ（磐田瀝青舗材共同企業体）
スタジオ・アーツ
学校法人 ビューティー総合学園
ヤマハ発動機株式会社
株式会社小出製作所
らっ衆
パンガン
若林 綾子（東海文化専門学校）
Bゾーン早川
木野 多家子
オープン化粧品東海第一営業所
B-line! 磐田
株式会社Z & C
八木設備工業株式会社
花木 君子
社会福祉法人 八生会
キンバラ株式会社
藤村 克英
ROH design&wear
RAICES
COUPLE HOT DOG PRESS
澤井 留里
FLORA BRASIL ARTEZANATO
浜松インドネシア友好協会
（順不同・敬称略）



総務セクション

セクションリーダー：山下 安範

●内容

【当日までの流れ】

・準備会開催

第1回 2019年10月21日（月）豊田支所

第2回 2019年11月8日（金）豊田支所

第3回 2019年12月6日（金）豊田支所

第4回 2020年1月10日（金）ワークピア磐田

第5回 2020年2月7日（金）ワークピア磐田

・現地打ち合わせ会（ららぽーと磐田担当者、セクションリーダー、事務局）

第1回 2019年11月27日（水）ららぽーと磐田

第2回 2020年1月9日（木）ららぽーと磐田

・前日準備 2020年2月15日（土）ららぽーと磐田

①16：45集合 ②20：45集合 終了22：30

・当日 2020年2月16日（日）ららぽーと磐田

集合、準備開始8：00、撤収開始16：00～終了18：00

【スタッフ・ボランティア管理】

- ・磐田国際交流協会会員、昨年度フォーラム参加者への参加者募集案内と名簿作成
- ・高校生ボランティア募集 市内高等学校訪問により依頼
- ・中学生ボランティア募集 市民活動センター、磐田市学校教育課との連携
- ・各セクションからのボランティア必要人員把握
- ・スタッフ運営マニュアル作成
- ・スタッフ、ボランティア役割名簿作成
- ・前日、当日のスタッフ・ボランティア受付

【広報】

- ・フェア案内チラシ作成手配
- ・ラジオPR（1/27・2/14 SBS ラジオ…川原実行委員長出演、1/28 K-mix 催事情報紹介）
- ・広報いわた、いわた ICE NEWS（磐田国際交流協会会報誌）、SIR JOY Press（静岡県国際交流協会情報誌）掲載
- ・報道機関宛取材メモ作成、提出
- ・在浜松ブラジル総領事館による周知

【協賛募集】

- ・会社リスト作成
- ・有志スタッフの協力と事務局で協賛依頼

【備品（作成・管理）】

- ・各セクションからの机、椅子、備品の確認、手配、備品移動表作成

- ・各会場レイアウト図・備品リスト作成
- ・アミューズ豊田からのパネル移動手配（地域づくり応援課）、会員ヘイゼル募集
- ・ららぽーと磐田入館証管理、スタッフ名札作成
- ・1F 中央広場メイン看板作成・設置
- ・協賛企業掲示ポスター、A3 協賛企業名リスト作成
- ・イベント紹介ポスター作成、設置
- ・会場図、シールラリー台紙作成

【記 録】

- ・写真、動画撮影

【その他】

- ・傷害保険、賠償責任保険の手配

●所感

昨年度までのイベント開催場所（ワークピア磐田）から、ららぽーと磐田に移しての開催決定から短期間での準備会議、ららぽーと磐田との打ち合わせを経て開催することができました。多くのお客様が来店する中、どのような催事、展示、ステージ、物販を行えばお客様の目に留まるのか、振り向いていただけるのかを模索しながらの打ち合わせ会議を行い、スタッフの思い描いた内容に近づけたように思います。特に会場を提供していただきましたららぽーと磐田様には、各イベント場所において格別のご配慮をいただきました。また、多くの協賛企業様、個人様から多大なご支援をいただきました。感謝申し上げます。更に、多くの中学生、高校生のボランティアの皆様のご協力により無事開催することができました。ありがとうございました。

●課題

ららぽーと磐田の広大な会場を利用するため、スタッフ、ボランティアが会場を把握するのに時間が掛かったように見受けられました。バックヤードからの備品荷物の搬出、搬入には店舗の壁、通路、店舗側関係者に十分注意が必要です。入館証の管理徹底が不十分でした。ショッピングをするお客様の通路を妨げてしまう場面が見られました。

●写真



第1回準備会



当日 本部受付

シンポジウムセクション

セクションリーダー：藤田 昌弘

日本語スピーチ担当：前嶋 義夫

【日本語スピーチ】

●内容

①4人の外国出身者に、日本に来て困ったことやうれしかったこと、今感じていることなど自由なテーマで話していただいた。

②アオキ・ローマニタ・パラスさん（フィリピン）と犬塚まいさん（ベトナム）は日本人の配偶者を持つ女性、ビモ・ウィカクソノさん（インドネシア）とスジョンさん（バングラデシュ）は「技術」の在留資格で企業に勤めている男性で、それぞれ磐田国際交流協会の日本語教室で日本語を学んでいます。

③スピーチは3分から5分を目途に行い、その後交流タイムとしてお客さんからちょっと聞いてみたいことやアドバイスなどを話していただき、一人10分ほどで進めた。

●所感

①4人のスピーチは短い人は3分ほど、長い人は10分を超えるものがあったが、交流タイムで時間調整ができ、全体ではほぼ予定通りの時間で終えることができた。

②交流タイムでは、昨年10月に台風が来た時に困ったことはなかったか、着ている衣装は何か、ゴミ出しのことはご近所さんに聞くといいよ、など5件の質問やアドバイスが客席から出された。

③客席は当初40脚用意したが、立ち見の数が増えたため10脚を追加した。

④買い物中のお客の反応では、立ち止まって耳を傾けたり、二階の廊下から眺めていたりして興味を示していた人がかなりいた。

●課題

①ららぽーと磐田での日本語スピーチは、磐田で暮らす外国人の想いの一端を多くの人の耳に触れさせることで、多文化共生の意義を少しでも感じてもらうことに役立ったものと思います。

②より多くの人に立ち止まって見てもらうようにするには、演者の動き、パフォーマンスがあった方がいいように思います。例えば数人のグループによる日本語寸劇、日本の歌の合唱、親子パフォーマンスなどです。

●写真



【こんばんはⅡ上映会】

●内容

①夜間中学校ドキュメンタリー映画「こんばんはⅡ」の上映（37分）

②森監督のお話（20分）

③森監督、中村小十郎先生（夜間中学元教諭・現こども・磐田市若者相談センター相談員）、神谷美菜（フィリピンルーツ高校生）さんによるトークセッション（25分）

ファシリテータ：菅原明子さん

●所感

夜間中学校を題材としたドキュメンタリー映画であったため、観覧者は教育関係者が多い印象であったが、当日申し込みで参加した家族連れも数組おり、子どもから年配の方まで、幅広い視聴者を得る事ができた。

上映時間が長くないため、その後の監督の「お話」と「トークセッション」まで、テンポ良く繋がった印象を持った。

映画の内容は、学び直しと学び始めの拠点となり得る夜間中学校の意義を、厳しい現実を経験してきた出演者のエピソードをベースに、切実に分かり易く伝えてくれたと思う。

森監督の熱い思いは、上映後の良いアクセントとなった。

「トークセッション」では、中村先生のユーモアを交えた実体験と、学びの中にいる神谷さんの高校生目線による素直な声がかみ合わせ、柔らかな雰囲気の中で、学ぶことの重要性とその機会を提供する必要性を伝えられたと思う。

●課題

当日参加者が想定を超えて多く、椅子を補充する必要性が生じ、また立ち見が出てしまった。盛況という意味では悪いことではないが、椅子の数の確保が十分でなかった。

限られた時間の中で、上映・監督話・トークセッションを盛り込んだため、時間に余裕がなかった。トークセッションは良い内容だっただけに、もう少し時間を取りたかった。

●写真



ワールドステージセクション

セクションリーダー：加藤 清寿

●内容

1. 準備会

10月21日、11月 8日、12月 6日、1月10日、2月 7日
計5回開催

2. 前日準備

17:00～22:30

3. 当日スケジュール

ミーティング、音響セッティング、リハーサル	8:30～10:00
しっぺい君と交流タイム	11:50～12:10
ステージ演目	
オープニング	12:05～12:10
① フラメンコ (エスペランサ)	12:10～12:30
② 空手 (磐田天理空手道場スポーツ少年団)	12:35～12:55
③ フラダンス (ナネアヨーコフラメイト)	13:00～13:20
④ キッズダンス (Dance Platz J★J-kids)	13:25～13:55
⑤ カポエイラ (MB Team)	14:00～14:20
⑥ タイダンス (バックチー)	14:25～14:45
⑦ ブラジルのダンス (オブジェチーボ)	14:50～15:05
⑧ バリダンス (サクティ・バリ)	15:10～15:30
⑨ サンバ (ブラジリダディ)	15:35～15:55
エンディング	15:55～16:00

●写真



●所感及び課題

今回のいわたインターナショナルフェア2020は、ららぽーと磐田での開催ということで、いつも以上に慎重に準備を進めてきました。特に会場のレイアウトについては二転三転しましたが、安全第一ということで今回の形に決定しました。

当日は雨天ということもあり、ららぽーと磐田への来客数が予想以上に多く見られステージを見学される方も多く、通路を確保するのに大変な時もありました。

特に北側の通路で次の出演者が待機していたため混雑が起きていました。観客席ももう少しあったほうが良かったのではないかと思います。

次回開催時には、この点を注意してレイアウトを考えたいと思います。

ステージの内容については各団体の雰囲気や十分に堪能でき、周りも巻き込んで良いステージパフォーマンスができたと思います。

最後に出演していただいた各団体の皆様、当セクションのメンバーの皆様、ららぽーと磐田様、フェアスタッフ一同に感謝いたします。ありがとうございました。

展示・体験ブースセクション

セクションリーダー：伊藤 慎弥

【各団体ブース出店&キッチンカー】

●内容：17団体にブース出展して頂き、会場を盛り上げるための展示・体験を行ってもらった。

食ブースが少なかったため、急遽キッチンカーにも来て頂いた。

●感想・課題：出展団体が当初よりも多めに集まり、2Fの広場も使わせて頂きましてありがとうございました。工作有り、ワークショップ有り、販売ありと楽しいブース出店だったと思います。フェア終了後、次回出店したいがどうすれば良いか、との問い合わせがあったと、ららぽーと磐田さんより聞いております。すでにこのフェアの情報はいろんな団体へ広まっている事でしょう。来場者がものすごく多く、集客・団体PRどれをとっても磐田一だと。なので、次回は今回よりも早めに出店条件を決め、お声掛けをする必要があると思いました。

尚、申請した物以外の家電製品を使うブースが有りましたので、申込み時に何度も何度も念を押す必要があると思いました。

【民族衣装体験】

●内容：民族衣装を会員から募集、来場者に着て頂き、異国情緒を楽しんでもらう。

●感想・課題：民族衣装を多くお持ちの会員にご協力頂きまして、多くの衣装が集まりました。

ブース出店場所はステージ向かい、来場者から大変目立つ場所で、上から羽織るタイプや簡単に着れる服を来場者が楽しんでいる光景を良く目にしました。しかし、更衣室を用意していたものの、ブースから少し離れている事もあってか、がつつりと着るような（着物・上下を着る物、等）衣装はほとんど着てもらえる事が出来ず、ご用意して下さった会員が残念がっておりました。次回は更衣室が用意出来る様に工夫したい。

【多言語読み聞かせ】

●内容：いろんな国の言葉と日本語を繰り返しながら、絵本を楽しんでもらう。

●感想・課題：昼ラウンジというとても落ち着いた場所で、子ども達に絵本と多言語を楽しんでもらう事ができました。読み聞かせ担当者もニコニコしながら読んでいたので、子ども達も幸せな気持ちになったと思います。会場が奥まって素通りされやすい場所なので、次回はPRを工夫して、参加人数を増やします。

【子ども絵画展】

●内容：磐田市内の5校の幼稚園・保育園・外国人学校（幼児）にご協力頂き、120点以上の作品を展示。

●感想・課題：かなり沢山の作品が集まりました。フェア前日から展示し、当日まで、自分のお子さんの作品を見ようと多くの親子づれが集まりました。フェアへの集客効果は確実にあるので、今後も続けていきたい。

【シールラリー台紙配布】

●内容：シールラリーの台紙を各所で配布（本部・各ブース・絵画展・東広場隅）

●感想・課題：各ブースいろいろ回って頂く為に、配布をしました。特に絵画展の所では、絵画を見ている方に配布した所、ほとんどの方に受け取って頂き、ラリーに参加して頂きました。

【シールラリー&シールラリー景品】

●内容：シールを10個集めると景品がもらえるシールラリーの実施

●感想・課題：今年はオリンピックイヤーと言う事で、テーマは「スポーツ」。ほとんどのブースにご協力して頂きました。シールを集める為に、いろんなブースに行って、話を聞いて、また違うブースに行ってという、来場者に会場をグルグル回ってもらえる好循環が出来る素晴らしいラリーだったと思います。次回はデザインを工夫し、出展ブースが急遽減っても良いレイアウトにします（キッチンカーの雨で欠席対策）。景品も十分集まりました。皆様ありがとうございました。



各団体ブース出店



キッチンカー



民族衣装体験



多言語読み聞かせ



子ども絵画展



シールラリー台紙配布



シールラリー



シールラリー景品

世界のスポーツセクション

セクションリーダー：阿部 俊典

●内容

- ・東京オリンピック2020と絡めた、世界の各国の紹介ブースを展開。
- ・袋井市、掛川市からキャンプ地自治体として出店をいただき、アイルランド、台湾、オリンピック、パラリンピック出場選手の紹介、浜松市、湖西市からはパネル展示を行い、各市及びキャンプ国の紹介
- ・世界地図と県内キャンプ地のMAP展示
- ・子供向けに世界のクイズ ⇒ メダルチョコ贈呈
- ・うさぎ山ブース（松ぼっくりタワー、どんぐり早並べタイムトライアル）
- ・FJU（フットサル紹介ブース）
- ・シールラリー対象3カ所



<ブース入り口>



<掛川市展示>



<袋井市展示>

- ・出場選手の紹介
- ・茶のみやきんじろう
ハットプレゼント

- ・アイルランド紹介
- ・ふくっぴー一缶バッジ
プレゼント



＜県内キャンプ地紹介＞



＜東広場 1 F から＞

●所感

インターナショナルフェアとして世界のスポーツをテーマとしたブース展開を行ったが、当初心配していた閑古鳥とはならず、メダルチョコ100個も15時過ぎには在庫がなくなり、袋井市も缶バッジが全て配布となり、そこそこ盛況といえる状態にて終了することができた。

中でも、シールラリーとうさぎ山の効果により子供連れの家族が多く来場していただき、世界のクイズ（メダルチョコ）にも誘導が出来たと思う。世界のクイズのヒントが各国の展示に示されているようにしたことで、クイズからパネル展示への誘導となったケースも見受けられた。

来場者から磐田市の展示が無いことへの質問があり、キャンプ地の誘致が無い実情を伝えたとこ残念な感想をいただくこととなった。

●課題

前日、当日準備と想定した通りに事が進まず、関係者のみなさんにご迷惑をおかけすることとなり、段取りの難しさと甘さを痛感することとなった。設置しながらのレイアウト変更など、その場での判断が多くなったが、ららぽーと磐田様からのアドバイス、JCボランティアなどに助けられた。ありがとうございました。

実際、ブースを展開してみると、各市の展示がやや壁となって反対側への誘導に難があったかと思う。エスカレーター側、ベビースペース側双方にブースを分散させ、中央に人の流れを作るレイアウトもアリだったかと思う。

中高生ボランティアへの指示、指導に難しさが伴った。友達と同じ役割に対し、大人のスタッフをもっと混在させるべきだったかもしれない。何度か注意喚起したが、お客様に対して声が出ていないことが目立った。朝のミーティング時での挨拶練習なども今後の検討課題かと思う。

世界の民族衣装 食事を楽しもう

磐田で16日イベント

各国の民族衣装を着たり食事を楽しんだりして、日本人と外国人が楽しくつながろうというイベント「いわたインターナショナルフェア」が二月十六日午前十一時～午後四時、磐田市高



民族衣装を着て来場を呼び掛ける磐田国際交流協会のメンバー＝磐田市で

見丘の大型商業施設「ららぽーと磐田」で開かれる。店内の西広場や東広場では、主催の磐田国際交流協会が韓国の韓服やベトナムのアオザイ、チャイナドレス、日本の法被、インドネシアのバティックといった衣装を用意する。ブラジル料理を提供する店も出る。中央広場では、市内在住で、インドネシアやフィリピン、ベトナム、ペルーなどの国籍の五人が日本語でスピーチする。ステージでは日本人の空手、ブラジル

人によるサンバ、ブラジルの格闘技のカポエイラのほか、フラメンコやバリダンスを演舞。英語やポルトガル語の絵本の読み聞かせもある。夜間中学校を題材にしたドキュメンタリー映画「こんばんはⅡ」の上映（要予約）もあり、森康行監督のトークショーが予定されている。磐田国際交流協会事務局の田中琢間さん（三巴）は「知らない文化に触れ合える機会。年齢、国籍に関係なく

楽しめます」と来場を呼び掛けています。同協会＝0538（37）4988（宮沢輝明）

踊りや料理通し文化交流 中日

磐田でイベント 日本語スピーチも 2020 2.19



フラメンコを踊る参加者＝磐田市で

世界の文化を広く知ってもらうためのイベント「いわたインターナショナル

フェア」が、磐田市内の大型商業施設「ららぽーと磐田」で開かれた。

フィリピン、インドネシア、バングラデシュ、ベトナム出身の四人は、日本に来て苦労したことや、うれしかったことをテーマに日本語でスピーチ。フラダンスやフラメンコ、タイのダンスを披露するワールドステージもあった。ブラジルやアルゼンチンの料理のほか、イタリアの香味野菜、インドネシアのコーヒーの販売も。主催の磐田国際交流協会を手伝った高校生は、韓国の韓服やチャイナドレスを着て来場者を案内した。夜間中学校を題材にしたドキュメンタリー映画「こんばんはⅡ」の上映や森康行監督のトークショーもあった。（宮沢輝明）



多文化共生へ活動発表

多文化共生社会を推進する「いわたインターナショナルフェア2020(実行委主催)」が16日、盤田市高見丘のららぽーと盤田で開かれた。国内外の踊り、スポーツを披露するステージや海外出身者の日本語スピーチ、関係団体の活動発表などが繰り広げられ、多くの来場者でにぎわった。

盤田で国際フェア

ステージ公演は県西部の9団体が出演した。フラメンコの華やかな演舞を皮切りに空手やサンバ、キッズダンスなどを披露し、会場を盛り上げた。日本での暮らしの印象や苦労などをスピーチしたフィリピンやインドネシアなど4カ国出身者には大きな拍手が送ら

踊りやパネル展示

れた。
東京五輪・パラリンピックの開催機運を盛り上げへ、近隣の浜松、掛川、袋井、湖西市をはじめ県内キャンプ地をまとめたパネルを展示。各市を訪れる国や種目をPRした。年齢や国籍にかかわらず通える夜間中学のドキュメンタリー上映も行った。

(盤田支局・山本雅子)